



国際認証の取得を目指して

WHO世界基準の安心・安全なまちづくり
セーフコミュニティだより

第16号

セーフコミュニティ事前審査会

「認証に向けた中間報告」

事前審査とは？

5月28日・29日の2日間、国際認証審査員である韓国・台湾のチョ・ジュンピル氏、台湾のパイ・ル氏をお招きして、セーフコミュニティの事前審査会を開催しました。

秩父市では、平成24年9月にセーフコミュニティ取り組み宣言をして以来、これまでに推進協議会、対策委員会等を設置し、各種外傷データの収集・分析、データに基づく安全な取り組みの検討を進めてきました。今回の事前審査は、秩父市の活動がセーフコミュニティの認証基準を満たして進んでいるか確認するためのものです。

事前審査 審査員の紹介

セーフコミュニティ認証は、公正を期するため、国内の審査員ではなく、海外の審査員が審査を行います。



チョ・ジュンピル先生
(韓国)



パイ・ル先生
(台湾)



活動報告の様子

各対策委員会から報告

秩父市では、交通安全、高齢者の安全、子どもの安全、自殺予防、災害時の安全、犯罪の防止、自然の中での安全の7つの対策委員会を設置し、昨年の8月から活動を始めました。これまでに7回前後の会議を開催し、セーフコミュニティに関する研修、ワークショップによる意見交換、重点課題の抽出、課題解決のための取り組みについて議論を重ねてきました。

事前審査では、各対策委員会から、議論の経過について報告し、報告内容について審査員からの質問にお答えしました。

例えば、交通安全対策委員会では、秩父市のどこで、どのような原因で事故が発生しているのか、事故が多い地域や対象者を

分析しました。そのデータを踏まえて、「若者や高齢者を対象に交通安全意識や行動の改善を図る取り組み」、「事故多発地域を対象に事故防止対策を強化する」という検討経過を体系立てて報告しました。詳しくは、報告内容をホームページに掲載します。

審査員講評

すべての活動報告の後に審査員から、秩父市の取り組みに対して、講評がありました。

①多面的な視点からデータを収集し、体系的に整理されている。

②秩父市の多くの方が何かをしたいという気持ちを持って携わっている。

など、良好な評価をいただきました。一方で、データの更新や多面的な分析、取り組みの優先順位の設定、民間企業との連携などのアドバイスをいただきました。



審査員講評の様子

○全国から推進自治体が訪問

今回の事前審査には、セーフコミュニティ推進自治体の十和田市、厚木市、豊島区、小諸市、箕輪町、松原市、北本市、甲賀市からも多くの住民の方や職員が視察に訪れ、各自治体での取り組みについて情報交換をすることができました。

認証取得までのスケジュール

2012年9月	セーフコミュニティ取り組み宣言
2012年11月	推進協議会設立
2013年1月	WHO協働センターに準備段階都市として登録される
2013年8月	対策委員会設置
2014年5月	事前審査受入れ
2014年6月～	取り組みを改善
2015年5月頃	認証申請書提出
2015年夏～秋	本審査受入れ
2015年冬	認証

現在

した。今後は、これらのアドバイスを参考に、来年の本審査に向けてさらに取り組みを改善していきます。

問 危機管理課 Tel 22-2206